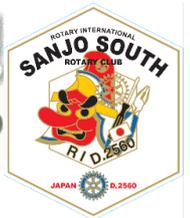




# 三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club

2024-25 クラブテーマ 親睦から始めよう



2025. 5. 19

地区協報告

No.2524 No. 34



会長挨拶  
三条南ロータリークラブ  
会 長  
永桶 俊一

新潟県で一番の超高層ビルは朱鷺メッセの 31 階 140.5mになります。

現在日本一の超高層ビルはあべのハルカス 60 階 300mを抜いて、麻布台ヒルズ森JPタワーで 64 階 330mあり 2023 年 11 月に開業しました。

あべのハルカスの展望台ハルカス 300 は登ったことがあります。まだ麻布台ヒルズ森JPタワーに行ったことはありません。機会をみてぜひ行ってみたいと思っています。

かなり前の話になりますが、以前東京で働いていたときの同僚が新宿の超高層ビルの現場にいるから見に来るか誘いがあり、見に行ったことがあります。完全外者の人間が行っているのかと思いましたが、その工事の設備の現場責任者が新潟の極上吉乃川が好きで、酒を現場事務所に持って来れば見に来て良いということでした。

51 階建ですが、現在 35 階まで鉄骨を建てている状況で、ロングスパンエレベーターで 33 階まで上がり、冬の時期で下は雨でしたが、33 階まで来ると雪っぽいのがちらちら降っていました。建物の真ん中にタワークレーンが設置してあり、まだまだこれからという感じでした。

階段もありますが、資材の上げ下ろしも含めて、ロングスパンエレベーターで行います。

仮設トイレ・休憩所も 10 フロアごとに設置されており、作業員は朝一度その作業階に上ったら一番下まで降りる必要はありません。

超高層ビルでトイレの排水とかどうなっているかというとそのままたとえば 300mから落下させては流速が速すぎて、下の階のトイレの便器の中の水を引っぱって封水が切れて臭いの原因になるので、減速継手を設けます。これは継手の中でらせん状に排水を落として流速をさげる継手を設けます。300mまで上げた水を 1 階で使おうとすると 30kg/cm<sup>2</sup> の圧力がかかって危険です。

1 階に給水タンクを設けてポンプで 10 階の給水タンクに上げます。

1 階から 8 階までの水は 10 階の給水タンクから供給します。そして 10 階の給水タンクの水をポンプで 20 階の給水タンクに上げて 9~18 階までの水を供給するというようにすると階ごとの圧力差は少なくなります。

高層ビルはノウハウが必要なので、うちの会社ではせいぜい 1987 年に施工に携わったパルムマンションの 14 階建て位までと思っています。

麻布台ヒルズ森JPタワーも見てみたいですが、2028 年には東京駅前にトーチタワー385mが完成予定なのでぜひ行ってみたいと思います。

- ◆本日の出席：38 名中 27 名
- ◆先週までの通算出席率：88.65%
- ◆本日のビジター：  
燕 RC より青柳修次さん(次年度第四分区ガバナー補佐)、長谷川克紀さん、本間尚貴さん
- ◆幹事報告 田中康之幹事
- ▶「2025 年規定審議会 決定報告書」  
受付に配置しますので、ご覧ください
- ▶越後春日山 RC より「創立 30 周年記念式典出席の御礼状」

## ニコニコボックス

5/19 18,000 円 本年度累計 617,000 円

- 青柳さん(燕)「よろしくお願いします」
- 長谷川さん(燕)「よろしくお願いします」
- 本間さん(燕)「よろしくお願いします」
- 永桶会長「本日次年度ガバナー補佐青柳様のご訪問感謝します。本日は地区協報告です。木村エレクト宜しくをお願いします」
- 田中幹事「次年度ガバナー補佐宜しくお願ひ致します」
- 木村讓さん「本日はお忙しいところ青柳ガバナー補佐、長谷川さん、本間さんありがとうございます」
- 加藤さん「青柳ガバナー補佐、ようこそいらっしやいました。ご指導よろしくお願いします」
- 関さん「燕 RC の青柳様、長谷川様、本間様、どうぞゆっくりお過ごしください」
- 田代さん、銅冶さん、熊倉さん、平松さん、藤田さん
- 吉沢さん、石山さん「BOX に協力します」
- 田村さん「BOX にご協力ありがとうございました」



国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック (米国)  
第 2560 地区ガバナー 南雲 博文 (長岡)  
第 4 分区ガバナー補佐 杉山 幸英 (三条)  
会 長 永桶 俊一  
幹 事 田中 康之  
SAA 関 博市

事務局  
〒955-8666 三条市柳町 2-5-10  
三条信用金庫本店内  
TEL 0256-35-3477  
FAX 0256-32-7095  
E-mail info@sanjo-minami.jp  
URL https://www.sanjo-minami.jp

## ご挨拶



2025-26 年度  
R | 第 2560 地区  
第四分区ガバナー補佐

青柳修次さん  
(燕RC)

7月からの次年度のガバナー補佐を拝命いたしました。

第四分区には地区最多数の 11 クラブがありますが、高橋秀樹パストガバナーからは「各クラブそれぞれ 4 回以上訪問してください」と申し付けております。

第四分区 IMI は、9 月 27 日(土)燕三条ワシントンホテルでの開催です。

一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 地区協報告



2025-26 年度

木村 讓 会長  
【第1セッション】

4月26日(土)、地区・研修協議会がANAクラウンプラザホテル新潟にて行われました。

地区研修・協議会は、ロータリークラブの指導者育成を目的とした研修のことで、

主に、次期クラブのリーダー、会長エレクトや各委員長を対象とし、ロータリーの理念や活動、指導者の役割などを学びます。地区内での情報共有や交流を行います。

前半は全員で同じ内容でしたので、PETS とほぼ同じ内容になります。

後半は、各担当にわけて、それぞれ会議を行いました。

私は、第1セッションに参加をいたしました。ここは次年度会長、幹事を中心としたセッションになります。一部入会3年未満の方もおりました。

一番の内容は、PETS でも話しておりました国際共同委員会 (ICC : Intercountry Committee) の設立への決議でした。

国際共同委員会 (ICC) は、複数の国や地区が協力して設立するロータリーの組織で、異文化理解や親善、平和の促進を目的としています。主な活動としては、国境を越えたロータリアンやその家族の訪問支援、都市間の会合や会議の手配、姉妹クラブやネットワークの構築、友好交流や異文化プロジェクト、国際奉仕および職業奉仕プロジェクトの実施、新クラブ設立に関する意見交換などがあります。これらの活動は地区ガバナーと連携し、年1回以上の総会開催や情報共有を通じて緊密な関係を維持します。特にウクライナ第 2232 地区との協力では、日本側に事務局を置き、日本語堪能なウクライナ人メンバーも参加予定で、精神的支柱となる支援活動も行われます。

1950 年にフランスとドイツ間で最初に設立されて以来、世界 119 カ国以上に広がっており、国際ロータリーの公式機関ではないものの、地域や国家間の友情と協力を深める重要な役割を果たしています。

### 【主な質疑応答】

・ロータリーは政治には介入しないという考えがある。そのところから考えると、戦争の被害はウクライナもあるがロシアにもある。両方への支援が必要ではないかという質問がありましたが、明確なロシア支援という言葉はありませんでした。

・クラブでの意見収集をしていないので、公式訪問後でもよいのではないかと？ 急ぐ理由はあるのか？という質問もありました。

これについては、来年度ははじめから動いていきたいのでこの場で決議したいということでした。

決議は3分の2以上の可決が必要ということで私は賛成に手を上げさせていただきましたことを報告させていただきます。

ただ、不明な点は、公式訪問などを通じて継続的に質問等を行っていきたいと考えております。



2025-26 年度

吉沢栄一 会長エレクト  
【第2セッション】

クラブ活性化委員会、クラブ奉仕委員会、広報公共イメージ向上委員会を対象のセッションを行いました。

まずはクラブ活性化委員長の石本パストガバナーより会員増強についてお話しがありました。

室賀年度も昨年同様会員純増 5% を目標。

当クラブでは 2 人以上の純増が目標となります。

手元に資料が配られ現在の会員数順にクラブ毎の過去 5 年の会員増現数が記載されてあります。

またその資料には入会金、年会費など記載されており、非常に参考になりました。

また戦略計画委員長、三条東 RC の井上正栄さんより、10 年前に会員増強の為に何をやったかお話しがありました。

この 10 年で 30 名から 37 名の実績。

現在三条東で実施されている事として、入会年度は会費半額、35 歳未満は会費半額、会員ご子息の入会してもらう為に法人会員制度の新設があり、また家族会員制度も取り入れたとのこと。

当クラブも会員増強の為に色々いいことは参考にして、話し合いが必要と感じました。



2025-26 年度  
田中康之  
社会奉仕委員長  
【第3セッション】

第3セッションでは職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の各委員長から活動内容の説明がありました。

最初に職業奉仕委員会からは職業奉仕は目に見える具体的な奉仕活動や目標数値などのない分かりにくいものではあるが、職業を通じての奉仕活動は、他の団体にはないロータリー独自のものであることが話されました。また後半では職業研修チーム(VTT)の概要説明がありました。

次の社会奉仕委員会では、社会奉仕活動の実践と地区補助金の活用という内容でパネルディスカッションが行われ、「児童発達支援センター」「新潟市児童相談所」の事例などが紹介されました。その後、地区補助金活用のポイントのまとめや地区補助金の説明が行われました。

最後に国際奉仕委員会からは姉妹クラブ、友好クラブについての説明がされ、以前は姉妹クラブには5年ごとの締結などの縛りがあったが、現在は緩くなり特に縛りはないことが説明されました。また、グローバル補助金、地区補助金についての説明。来年6月に行われる台北国際大会、8月に行われる国際奉仕フォーラムについての話がありました。

私は社会奉仕委員長としてすでに木村会長のもと動き始めていますが、今回の地区研修・協議会に参加し、社会奉仕や補助金についてより理解が深まったので、今後の活動に生かしていきたいと思えます。



2025-26 年度  
藤田寛嗣  
青少年奉仕委員長  
【第4セッション】

第4セッション・青少年奉仕委員会に参加してきました。インターアクトとロータアクトの説明から始まり、その後青少年奉仕の在り方の説明をしていただきました。自分は何も知らないまま参加したので勉強になりました。

ライラ研修の来年のテーマは「雪」です。

日程は、2月～3月を予定しています。

雪は景観を美しく見せたり、ウィンタースポーツなど楽しむこともできれば、豪雪によりライフラインを止めたり人々を苦しめることもあります。

また新潟県のお米が美味しいのは、雪のおかげとも言われています。

その雪をテーマに使った講演とレクリエーションを行い、親睦を深める企画です。

最後に講評として大谷パストガバナーより「企画する側が楽しみながら企画運営すれば参加された方も楽しく良い思い出ができる。この事がロータリアンの人員の増加につながる」と話されました。

今回セッションに参加し、大変有意義な時間を過ごすことができました。

## 2025 年 規定審議会 ～クラブに関連する重要な変更～

ロータリーでは3年に一度、組織規定文書への変更案について審議、投票する規定審議会が開催されます。2025年規定審議会は4月13日～17日にシカゴで開催されさまざまな提案を承認しました。

2025年7月1日に施行される主な変更点をご確認いただくため、[規定審議会で採択されたクラブと地区にとっての主要な変更](#)の資料をご参照いただけます。また、数週間以内に My ROTARY から公式の[決定報告書](#)をご覧ください。そのほか、その後、更新された[組織規定文書](#)も公開されます。

2025年規定審議会で承認された変更に基づき、クラブ細則の見直しと更新を始めることができます。クラブ独自の文化を踏まえつつ、今回の変更に沿ってクラブ細則を調整できるよう、見直しを担当する委員会を設置することができます。

\*\*\*\*\*

◆**クラブの加盟に必要な会員数の引き下げ**：新クラブをより迅速に結成できるよう、ロータリークラブの創立会員数が20人から15人に引き下げられました。

◆**会員身分の終結**：クラブ全体の終結を避けるため、正当な理由によりクラブが会員の会員身分を終結することを、RI 理事会が指示できるようになりました。当該会員は、終結されるべきではない理由を説明するために、30日与えられます。この終結にあたってはRI理事会による3分の2の投票が必要となります。

◆**会員**：入会を制約するために課することができない特性のリストに「性別」という言葉を追加することで、RI 細則を理事会の方針と一致させました。

◆**クラブの加盟停止または終結**：RI 理事会がロータリー財団の資金管理方針に違反したクラブを加盟停止または終結する権限を与えました。

◆**クラブ財務 中間財務報告**：年度末における諸業務の一助とするため、ロータリークラブの中間財務報告の時期を12月31日から1月31日に変更しました。

◆**ロータリークラブの人頭分担金** 徹底した経費削減の活動と経費の増額がインフレ率よりも低く抑えられていることを鑑み、RIの人頭分担金は2025-26年度に半年ごとに41米ドル、2026-27年度に半年ごとに42米ドル75セント、2027-28年度に半年ごとに44米ドル63セント、2028-29年度に半年ごとに46米ドル50セントに増額されます。